

## 第4回 総合計画策定審議会 議事要旨

会議名：第4回総合計画策定審議会

日時：2020年10月14日（水）15:00～17:00

場所：吉野町中央公民館 大ホール

参加者：出席者名簿の通り（欠席者：吉野町連合 PTA 松尾委員、吉野町青少年問題協議会里田委員、吉野町スポーツ推進委員東平委員の計3名）

資料：・次第

- ・【資料1】序論・基本構想（案）
- ・【資料2】人口推計（目標人口）
- ・【資料3】各種団体アンケート対象団体一覧及び調査票
- ・【資料4】今後のスケジュール（案）

### 【以下、協議内容】

#### 1 開会

#### 【町長】

今年2月に町長に就任し、来年4月から新しい総合計画スタートする予定である。総合計画の策定にあたっては、さまざまな視点からの検証や新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえ、新たな視点ですべての施策についてコロナ禍を意識した計画作りが必要である。そのため、審議会の委員の皆様には、それぞれの立場からご意見を頂き、吉野町の10年先のまちづくりを一緒に進めていけたらと考えている。また、庁舎の問題をはじめとし、まちの形を変えていく必要があると考えており、それぞれが受け継いできた歴史を大切にしながら、新たなものをどのように作っていくか考えていきたい。

#### 2 （1）序論・基本構想について

- 資料1「序論・基本構想（案）」に基づいて説明を行った。

#### 【委員】

コロナ後の世界を見通した計画の策定が求められていると思うが、序論・基本構想の25頁の最上段にはワーケーションやリモートワークの推奨などが記載されている。これは現在の吉野町にとって非常に重要なことであると思う。

例えば、Wi-Fiが届いていない家庭がある、妊婦さんの個別健診がリモートではできないなどデジタル化がコロナ後の不安材料の1つとなっている。離れた地域で不便な思いをしている方もいると考えられるため、デジタル化について全体的な位置づけが必要であると考えている。

#### 【事務局】

具体的な取組は、基本計画で検討予定であるが、序論・基本構想の32頁以降の政策の方向性の中で、ICT教育の推進や行政手続きのデジタル化などを進めていくことを記載している。

#### 【委員】

町全体の方針（町全体としてどうしていくかという状況）を示した上で個別の検討をする必要がある。例えば、小中学校でオンライン授業を進めようとしているが、児童や生徒のデジタル機器を使いこなす力に差があるため、町全体の方針があり、それに沿って、各分野や各施策でどのように取り組んでいくか展開していくことが理想である。今後、そのような提案があることを期待する。

#### 【委員】

お示し頂いた序論・基本構想に世界遺産の記載はあるが、国立公園にも該当するため、国立公園の保存やPRについての方向性があれば伺いたい。

#### 【事務局】

国立公園については、現時点の序論・基本構想の中でお示ししていないため、頂いたご意見を踏まえて、序論・基本構想への反映を検討する。また、序論・基本構想への反映が難しい場合は、基本計画への反映を検討する。

#### 【委員】

農業は、田園集落に位置付けられているが、農業そのものの記載が弱いため、項目を追加してほしい。また、安心できる吉野町の政策の方向性に鳥獣被害に関する内容が触れられていない。アンケートでも回答できる項目が少なかったが、サルやイノシシ、ハクビシン、シカなどの被害が相次いでいるため、鳥獣被害対策をどのように進めていくかを含めて、吉野町の農業を守り、緑豊かな自然環境に適したまちづくりが必要である。そして、農業の施策を盛り上げ、移住者が農業したいと思えるようなまちづくりにつなげられたらと考えている。

また、会長にお伺いしたいが、野迫川村では鳥獣被害対策について、奈良女子大学の学生が狩猟に参加していると伺ったが、吉野町に应用できることがあれば教えて頂きたい。

#### 【事務局】

鳥獣害対策に関する意見は多く課題として認識しているため、政策の方向性の中で記載することを検討する。ただし、鳥獣害対策は、農業と住環境に跨る課題であるため、いずれの政策に位置付けて記載するか検討する。

### 【会長】

野迫川村猟友会の方と奈良女子大学の学生が協働で、奈良女子大学の学生は、直接狩猟はできないが、猟友会の方と一緒に罾の仕掛け方の練習やシカやイノシシを使った料理のレシピ開発に取り組んでいる。

コロナ禍の対応としてデジタル化の推進の記載の強化（25 頁や 31 頁以降）、観光産業や農業への影響を踏まえた内容、国立公園についても重要な内容であるため記載を検討頂きたい。

### 【委員】

吉野山では、観光産業が中心であるため新型コロナウイルス感染症の影響を最も受けている。現在は、国の施策（GoTo キャンペーンなど）で少し戻ってきているが、平日の観光客は少ない。今後、観光の形態が変わってくると考えている。

例年 4 月には 2,500 台程度のバスが来たが、今年は 35 台程度であった。来年度の観桜期は 100%に戻ることは難しく、また、バスから乗用車へ移動手段が変わってきているため、吉野町内での交通循環をどのようにするべきか懸念している。

総合計画の中では吉野町内の取組が検討されているが、観光は広域的な視点を持って考える必要がある。吉野町の人口を今以上に減らさないために、吉野町により多くの人に訪れてもらい、住んでもらい、観光で吉野町の財政を支えていきたい。

### 【会長】

現在策定している計画の前提条件は、コロナ前に実施・整理した内容であるが、序論・基本構想を 1 から作り直すことは難しい。

新しい総合計画の前期基本計画（5 年間）の期間は、吉野町の観光業者をこれ以上減らさないため町としてどこまで支援できるか、そして、後期基本計画（次の 5 年間）の期間は、一定程度インバウンドが戻ってくると考えられるため、観光のあり方を考えていく時期になると考えられる。そのため、新型コロナウイルス感染症の影響と観光の関係などの記載を検討してほしい。

### 【委員】

商工会では、経営発達支援計画を現在策定中であり、その中でマーケティングや新規創業などを計画に盛り込んでいるが、序論・基本構想には記載されていないため、空き家対策や地域創業などを記載があるとよいと思う。

### 【事務局】

商工業に関する内容については、各施策に反映することを検討する。

**【会長】**

吉野町は、人口規模は小さいが、面積が広く、各地域で特徴があるため、歴史を培ってきた各地域でまちづくりを考えていく方が考えやすいと思うが、この考え方についてご意見があれば頂きたい。

**【委員】**

吉野町では、自治協議会を設立しており、それに基づいた地域の自治を目指している。現在、自治協議会が設立されているのは4地域であるが、序論・基本構想に記載されている7つの地域の色分け（歴史、伝統など）に基づいて、各地域で活動を進めている。

**【会長】**

本日、お示し頂いている序論・基本構想は、吉野町の実態が反映されており、内容もわかりやすいものとなっている。

**2 (2) 今後の人口の見通しについて**

➤ 「資料2 人口推計（目標人口）」に基づいて説明を行った。

**【委員】**

0-4歳人口に焦点を当てて目標人口を設定しているが、合計特殊出生率に着目するという方法もあるが、合計特殊出生率に関する分析は実施していないのか伺いたい。

**【事務局】**

移住や出生の傾向を分析し、今後10年間で達成可能な目標を設定している。また、女性の人口構成が合計出生率という数値に与える影響が大きく、また、吉野町に住んでいる女性の人数からも子ども1人増えると合計特殊出生率が0.06-0.07程度高まるため、合計特殊出生率を用いた目標人口とすることが適していないと考えたため、0-4歳人口を増やす目標を設定している。なお、合計特殊出生率としては1.5-1.6程度にできることを想定している。ただし、本日お示している数値は、正式な数値ではない点ご留意頂きたい。

**【委員】**

子育て世代の移住には「働く場所」「住む場所」が必要である。そのため、施策を跨いだ取組が必要であると考え、前回計画から今回計画への見直しで、施策体系をどのように変えて発展的な内容としてくべきか検討頂きたい。また、人を誘致するには働く場所や住む環境、子育て支援策、複合的に環境を整備しなければ人を増やすことができないため、子育て支援策のみでは不十分である。

【事務局】

0-4歳人口を確保するには、各分野横断的に施策を展開していくことを想定している。また、現在、まち・ひと・しごと創生総合戦略を総合計画と同時に見直しをしており、移住者を呼び込む方法や出生率を上げていくかが主たるテーマであるため、総合計画では横断的に検討するとともに、総合戦略で具体的な施策を検討していきたいと考えている。

今後、各種団体へのヒアリングや移住者に対する調査も実施予定であるため、その結果を踏まえて取組を検討していきたいと考えている。

【会長】

人口は、出生率を目標値とする方法もあるが、今回は0-4歳人口を目標に設定するということであり、合計特殊出生率を1.5-1.6程度を見据えているという説明があった。これは現実的な目標であり、かつ、わかりやすい目標であると考えます。

2 (3) 各種団体へのアンケート実施状況について

➤ 「資料3 各種団体アンケート対象団体一覧及び調査票」に基づいて説明を行った。

【会長】

現在、各種団体アンケートをとりまとめているところであり、次回、結果報告をお願いする。

2 (4) 今後のスケジュールについて

➤ 「資料4 今後のスケジュール(案)」に基づいて説明を行った。

【会長】

新型コロナウイルス感染症の関係で計画策定のスケジュールが後倒しになっているが、基本構想は12月に議会報告予定で進めている。ただし、進捗状況により、再度スケジュールを見直しが必要になることも想定している。

また、先ほど事務局から説明があったように10月23日からパブリックコメントを実施予定であり、パブリックコメントにかける序論・基本構想の案は、本日の意見について可能な範囲で反映させた案を予定している。パブリックコメントの期間中を目途に各団体で確認頂き、追加でご意見があれば事務局まで提出頂きたい。

ただし、基本構想は理念的な内容であるため、具体的な内容は基本計画への反映となることをお含みおき頂き、すべての意見を答申案に反映するかは事務局に調整をお願いする。

### 【事務局】

今後、基本構想の実現に向けてどのような取組を進めていくかという基本計画の検討作業に入るが、基本計画の検討に合わせて、総合戦略も見直しする。総合戦略は、施策分野を横断して「人口減少」という最大の課題に取り組む性格のものであり、第4次総計後期基本計画の中では重点目標として位置付けている。総合戦略の計画年度は、平成27年度～平成31年度までの5年間としていたが、総合計画の策定と合わせるため計画期間を1年延伸して作業を進めている。なお、総合戦略の計画期間を1年延伸することについては、国から了承を得ている。新しい総合戦略についても、今後の審議会の中で審議頂く予定である。

### 3 閉会

- 吉野町 総合政策参事より閉会の挨拶を行った。

以上